

## 3月定例会

### 平成30年度当初予算を可決

3月定例会は3月6日から3月28日までの23日間の会期で行われました。平成30年度一般会計、特別会計、企業会計の当初予算や29年度補正予算など市長提出議案等67件、委員会提出議案1件を審議しました。

議案の審議結果は4ページの会派別議案等賛否一覧表を、当初予算に対する各会派の意見は5ページをご覧ください。



▶ 悠久山公園の桜と郷土史料館  
悠久山公園の桜は、長岡藩三代藩主牧野忠辰が、杉苗などを植えて育てたのが始まりで、忠辰が好んだ桜を九代藩主忠精が植えたといわれています。

## 平成30年度一般会計当初予算1,386億6,900万円 次の100年に向けて力強く踏み出す予算

一般会計の当初予算額は、前年度当初比5.1%減の1,386億6,900万円となりました。

大規模事業の完了やピークの終了、制度融資の減により規模は縮小しましたが、市民サービスはしっかりと確保しました。また、AI（人工知能）技術の発達など大きな時代の変化と人口減少の進行という課題の中で、長岡開府400年の節目の年として、次の100年に向けて力強く踏み出す予算となりました。

#### 〈目次〉

当初予算の内容	1
一般質問	2
会派別議案等賛否一覧表	4
各会派の意見	5
常任委員会の所管に関する質問	6
市議会の活動状況、長岡市スポーツ推進条例(案)に対する意見の募集など	6

### 重点的に取り組む施策

#### I 「新しい米百俵」～人材育成と未来への投資～

- |  |            |
|--|------------|
| 1 長岡版イノベーションの推進<br>3大学1高専との連携による「人づくり・産業振興」(NaDeC構想)の推進等 | 2億4,722万円  |
| 2 産業振興と働く場の創出<br>長岡北スマート流通産業団地の整備と分譲促進等                  | 14億5,158万円 |
| 3 人材育成と教育環境の整備<br>小・中学校の校舎改修等                            | 49億8,923万円 |
| 4 将来に向けた都市インフラ整備<br>大積スマートIC(仮称)の整備に向けた調査検討等             | 93億2,262万円 |
| 5 長岡開府400年記念事業の実施<br>記念式典、講演会の開催や市民企画事業への支援等             | 1億2,079万円  |

#### II 誰もが安心して暮らせるまちづくり

- |  |            |
|--|------------|
| 1 子育て環境のさらなる充実<br>産後ケアの拡充(「ままナビ」5カ所、「ままりら」1カ所の増設)等 | 81億7,009万円 |
| 2 健康・福祉・共生社会のきめ細かな推進<br>障害者の就労の促進等                 | 24億3,653万円 |
| 3 防災・災害対策の推進<br>浸水被害(ゲリラ豪雨)対策への推進等                 | 49億433万円   |

- |   |           |
|---|-----------|
| 4 中山間地域と支所地域の生活の安心確保<br>地域で行う除雪作業への支援等    | 6億362万円   |
| 5 身近な住環境の整備と地域経済の下支え<br>生活に密着した地域インフラの整備等 | 351億232万円 |

#### III がんばる市民と地域の支援

- |  |           |
|--|-----------|
| 1 若者の活躍と市民活動の応援<br>寺泊地域と栃尾地域にコミュニティセンターを開設等  | 9億8,671万円 |
| 2 地域の活力創造<br>地域の宝の磨き上げ等                      | 2億8,994万円 |
| 3 スポーツによるまちづくり<br>オーストラリア競泳チームの合宿の受け入れと市民交流等 | 9,747万円   |

#### IV 長岡の魅力発信と交流人口の拡大

- |  |           |
|--|-----------|
| 1 シティプロモーションの戦略的展開<br>地域資源の効果的なPR等     | 4億1,748万円 |
| 2 交流機会の拡大<br>インバウンド観光の推進等              | 2億2,175万円 |
| 3 交流基盤の整備<br>古志高原スキー場に夏季のにぎわいづくりの場を整備等 | 6億757万円   |

※1 NaDeC構想:市内3大学1高専(長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学及び長岡工業高等専門学校)から提案を受けた、大手通坂之上町地区の再開発事業における「人づくり・産業振興」拠点の構想。中心市街地を核に3大学1高専の位置を線で結ぶと三角錐の形になることから、Nagaoka Delta Cone(ナガオカ・デルタ・コーン)の頭文字を取って名付けられたもの。

3月定例会

# 13人が一般質問

主な質問と答弁の要旨を掲載します

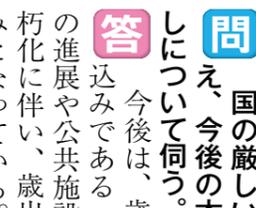


丸山 広司 議員  
(3期・市民クラブ)

**問** 本市の当初予算編成の基本方針について考えを伺う。

**答** 長岡開府から400年を迎える新年度の当初予算は、人材育成と未来への投資を柱とした「新しい米百俵」の推進を重点施策とした。

また、子育て環境の更なる充実や、健康・福祉・共生社会のきめ細かな推進など、誰もが安心して暮らせるまちづくりを着実に進めていく。さらに、がんばる市民と地域の支援をしっかりと進めるほか、交流人口の拡大を目指して、長岡の魅力発信を戦略的に展開するとともに、観光の基盤やコンテンツの充実を図っていく。



五十嵐 良一 議員  
(1期・民成クラブ)

**問** 国の厳しい予算編成を踏まえ、今後の本市の財政の見通しについて伺う。

**答** 今後は、歳入が減少する見込みである一方、少子高齢化の進展や公共施設・インフラの老朽化に伴い、歳出は増加する見込みとなっている。さらに、来年10月に実施される消費税率の引き上げなど、国の動向にも留意する必要がある。今後の財政については決して楽観できる状況ではないと認識している。まずは将来の税収確保や人口減少対策に直結するイノベーションや、産業振興などに一層力を入れていく。

また、国・県支出金などの特定財源の確保や交付税措置のある有利な起債の活用とともに、事務事業の不断の見直しや経常経費の一層の節減、公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合や複合化の検討などにより財源を確保していく。今後も市民サービスを確保し、充実させながら、未来への投資をしっかりと行っていきたい。

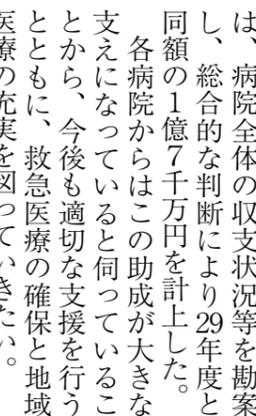


笠井 則雄 議員  
(5期・共産党市議員団)

**問** 柏崎市では国の特別交付税の算定基準を用いて公的病院への補助金額を算定していると同様の方法で助成できないかと考えるが、対象となる基幹3病院への運営費の助成状況を伺う。

**答** 基幹3病院への運営費助成は、28年度から特別交付税を主な財源として算定された。28年度の予算額は6億1,699万6千円であったが、年度途中で国の省令改正が行われて助成内容の一部が県の支援項目となったため、決算額は4億8,046万6千円であった。30年度予算額については

は、病院全体の収支状況等を勘案し、総合的な判断により29年度と同額の1億7千万円を計上した。各病院からはこの助成が大きな支えになっていると伺っていることから、今後も適切な支援を行うとともに、救急医療の確保と地域医療の充実を図っていきたい。



深見 太郎 議員  
(1期・市民クラブ)

**問** 成年後見業務を担う体制整備について本市の現状を伺う。

**答** 親族後見人が減少する一方、士等の第三者後見人が増加する中、専門職だけでは今後の利用者の増加への対応が懸念され、本市においても組織として対応する法人後見の体制整備が望まれていた。

市と関係機関とで検討を重ねた結果、長岡市社会福祉協議会で29年から法人後見の取り組みが始まったところであり、今後も円滑な後見業務の実施に向けて支援していきたい。

**ホームページで議会情報を発信中!**

本会議と常任委員会は、市ホームページで生中継・録画中継しています(ケーブルテレビの再放送は午後7時から)。なお、議会中継はスマートフォン、タブレットなどでもご覧いただけます。

長岡市議会 検索

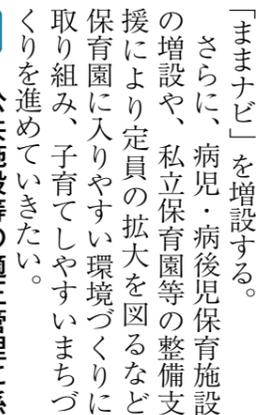
議会の日程や議案の概要、会議録なども載っていますので、ぜひアクセスしてください。



山田 省吾 議員  
(3期・しん長岡クラブ)

**問** 子育て環境の更なる充実が計上されているが、本市が特に力を入れる取り組みについて伺う。

**答** 子どもたちの将来が、生まれ育った環境によって左右されたり、夢や希望が断たれてしまったりすることがないよう、子どもの貧困対策を強化していく。具体的には、子どもナビゲーターの新たな配置や、子どもが居る世帯の生活状況を把握するための調査を実施し、必要な施策について検討していく。また、子育ての不安を解消するため、産後の母子を支援する「ままりら」や子どもとの関わり方を保育士から学ぶ



五十嵐 良一 議員  
(1期・民成クラブ)

**問** 公共施設等の適正管理に係る30年度の本市の具体的な取り組み内容について伺う。

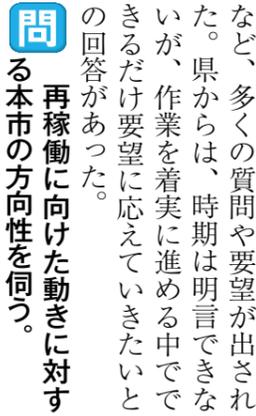
**答** 30年度は公共建築物の長寿命化計画の策定を引き続き進めるとともに、公共建築物の量の適正化と適正配置に向け、公共建築物適正化計画の策定に入る。また、地方財政計画で措置された起債制度を活用し、利活用の予定がない教職員住宅など、老朽化した建物の除却を進めていく。



五十嵐 良一 議員  
(1期・民成クラブ)

**問** 1月に本市で開催された市町村による原子力安全対策に関する研究会の実務担当者会議の概要について伺う。

**答** 県の福島第一原発事故に対する検証内容を把握し、今後の安全対策に生かすことを目的として、会議当日は市町村はもとより、国・県など関係機関の担当者60人が出席した。



深見 太郎 議員  
(1期・市民クラブ)

**問** 再稼働に向けた動きに対する本市の方向性を伺う。

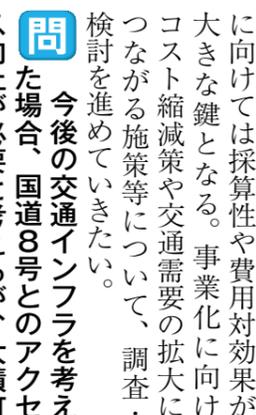
**答** 原発の再稼働については、市民の不安が解消されない限り再稼働すべきではないという考えは一貫している。この年明けに知事のもとへ規制基準に適合すると認められた柏崎刈羽原発の再稼働を進めていくという政府の方針が示されたが、県の検証がなされない限り再稼働の議論は始められないと回答したと伺っている。



深見 太郎 議員  
(1期・市民クラブ)

**問** 大積スマートIC(仮称)の整備方針について伺う。

**答** 道路のインフラ整備は交通の利便性向上はもとより、産業振興や観光振興につながる未来への投資であると考えている。大積スマートIC周辺は、多数の観光資源が存在するとともに、産業拠点も隣接していることから、長岡の西の玄関口として整備していきたい。さらに、災害時には新たな避難道路としての機能も持つことから、防災面でも大きな効果が期待できる。



深見 太郎 議員  
(1期・市民クラブ)

**問** 今後の交通インフラを考えた場合、国道8号とのアクセス向上が必要と考えるが、大積町長岡ニュータウン線の整備について、本市の考えを伺う。

**答** 大積町長岡ニュータウン線は、平成3年に大積地区とニュータウン地区を結ぶ延長14km幅員20mの都市計画道路として計画されていたが、これまで事業化には至っていない。大積スマートICを実現するためにも、両地区を結ぶ幹線道路の整備が必要と考えるが、事業化には多額の費用が必要となる。ルートについては現在都市計画決定されているルートにこだわらず、大積スマートICとの連絡性を第一に検討していきたい。

また、運営はNEXCO東日本が行うこととなっており、事業化

また、運営はNEXCO東日本が行うこととなっており、事業化

また、運営はNEXCO東日本が行うこととなっており、事業化

また、運営はNEXCO東日本が行うこととなっており、事業化

また、運営はNEXCO東日本が行うこととなっており、事業化

また、運営はNEXCO東日本が行うこととなっており、事業化

※2 基幹3病院：長岡赤十字病院、長岡中央総合病院及び立川総合病院の3病院をいう。  
※3 子どもナビゲーター：子どもの貧困対策を推進するために、子育て環境の情報収集や支援のコーディネートを行う専門職員。



服部 耕一 議員 (1期・共産党市議団)

実効性ある原子力災害

避難計画策定について

本市の避難計画を充実させるための取り組みを伺う。

本市の避難計画については、国・県・市町村など関係機関との協議を踏まえ、平成27年12月に策定した。さらに、放射線観測システムの構築や栃尾地域へのモニタリングポストの設置など、市独自の取り組みを進めてきた。

一方、安定ヨウ素剤の配備、病院や社会福祉施設等の要支援者対策などの広域的な課題については、県が関係機関と協力して検討を続けている。県の広域避難計画が具体化されることにより、本市

の避難計画も充実し、強化が図られると考えることから、今後も引き続き市として可能な部分は県に協力していきたい。

生活保護費引き下げによる影響について

国の方針で生活保護費の引き下げが明らかとなったが、本市では生活保護基準を目安とした様々な制度への影響をどのように考えているか伺う。

国の現時点の方針では、現行の生活扶助基準を基に決められた市民税の非課税限度額は30年度では変更しないが、31年度以降は国の税制改正の中で対応を検討することとしている。また、生活保護基準を目安としている様々な低所得者支援制度については、基準額が減額となる場合はできる限り影響が及ばないようにすることを基本的な考え方としている。

本市としては、国が示す方針に従いながら、関係部署と連携しながら適切に対応していきたい。



大竹 雅春 議員 (1期・市民クラブ)

醸成について

シビックプライドの醸成について

シビックプライドの醸成がまちづくりにもたらす効果について、本市の認識を伺う。

シビックプライド、いわゆる郷土愛の醸成は、人口減少社会に立ち向かい、地方創生を成し遂げるために、大変重要なものであると認識している。長岡への愛着と誇りが醸成されることで市民のまちづくりへの参加意識が高まり、自分自身が主体的にかかわって地域を良くしようとする当事者意識が形成されると考えている。

本市では地域の宝磨き上げ事業による地域が誇る宝の次世代への

継承や、地方定住、地方創生につながるような学ぶ、働く魅力づくりを進めている。こうした取り組みによって、市民一人一人の心に郷土愛を育むとともに、市民が主役のまちづくりを進めていきたい。

シビックプライドの醸成について

学校教育における学習や体験の大切と考えるが、市や市立学校の具体的な取り組みを伺う。

心身ともに大きく成長する小・中学生の段階での人との出会いや豊かな体験は、その後の人生に大きな影響を与える重要なものと考えている。教育委員会では、学校教育の共通実践事項の一つにふるさと学習を位置付けており、冊子「ながおか学」を作成し、小学5年生全員に配付している。

また、各学校においては、米百俵の故事や長岡空襲、長岡の偉人等について学ぶ創作劇の発表や、地元の特産を学ぶ活動、地域の方々からの依頼に応じて行う地域貢献活動など、様々な取り組みを行っている。



田中 茂樹 議員 (1期・市民クラブ)

2020年東京オリンピック・パラリンピック以降を見据えた今後のまちづくりについて

スポーツによるまちづくり

スポーツによるまちづくりの具体的な施策及び2020年以降のオーストラリアとのスポーツ交流について伺う。

本市では市スポーツ協会と協力し、子どもたちを対象とした32種類の体験入門教室の開催や、身近な地域でのスポーツ活動を支援するコミュニティスポーツ出前教室の実施、高齢者スポーツ大会の支援などに取り組んでいる。

今後は、2020年に向けたパラスポーツへの関心の高まりを契機とし、障害の有無にかかわらず全ての市民がスポーツに親しめる環

境づくりに努めていきたい。オーストラリアとの2020年以降の具体的な交流は未定だが、まずは競泳チームのホストタウン事業の成功を目指し、この事業をきっかけとしたスポーツ交流の継続と発展に向けて取り組んでいく。

今後の観光戦略について本市の考えを伺う。

インバウンドを含めた誘客に向け、観光の拠点や目的地となり得る施設の整備が必要と考

えている。道の駅ながおか花火館(仮称)の整備や、醸造のまち撰田屋地区における機那サフラン酒本舗の建造物を活用した情報発信交流の拠点整備を進めていきたい。

今後の観光戦略については、長岡花火を核とした日本酒や錦鯉などのプロモーションを展開していくほか、交流人口を拡大するための具体的な施策についても、現在策定を進めている長岡市観光戦略プランを指針としながら戦略的に進めていきたい。



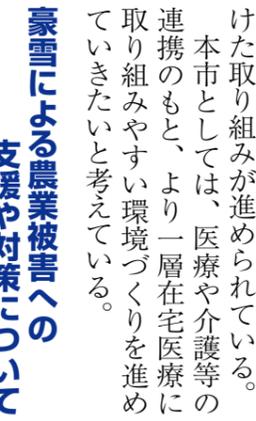
諸橋 虎雄 議員 (4期・共産党市議団)

地域包括ケアシステムの構築について

重度の要介護状態の方が在宅生活を続けるためには、24時間対応の医療機関を増やすべきだと考えるが、本市の考えを伺う。

本市には、他の病院や診療所等と連携を図りながら24時間体制で往診や訪問看護等を提供する在宅療養支援診療所が14カ所あるが、設置には厳しい設置基準があり、その施設数が増加していないのが現状である。また、24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問看護看護等の施設では、人員基準に沿った職員の確保に苦勞している

と聞いているが、国では人員基準の緩和など人材の効率化に向けた取り組みが進められている。本市としては、医療や介護等の連携のもと、より一層在宅医療に取り組みやすい環境づくりを進めていきたいと考えている。



細井 良雄 議員 (3期・共産党市議団)

豪雪による農業被害への支援や対策について

今冬の豪雪による農業用ハウスの被害に対する支援について伺う。

北陸地方を中心とした今冬の豪雪では県内でも海沿いや平野部など、通常降雪量の少ない地域を中心に被害が発生した。県の取りまとめによると、県内全体で505棟の農業用ハウスが倒壊したほか、市内では一部損壊も含め約50棟が被災した。

本市では早期の対策の実施を国・県に対して働きかけ、県ではこれを受けて相談窓口の設置や融資に対する利子補給制度等を予定しているという報道があった。今後引き続きこれらの動向を注視しながら、速やかな対応を図っていく。



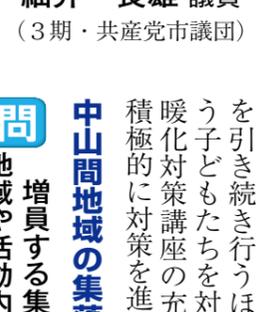
池田 明弘 議員 (1期・長岡市公明党)

地球温暖化防止に向けた取り組みについて

パリ協定の目標達成に向けた国・県の取り組みのほかに、30年度の本市の取り組みを伺う。

国ではパリ協定発効後、新たな地球温暖化対策計画を策定し、再生可能エネルギーの最大の導入などを図るとともに、省エネルギー機器への買い換えなどによる低炭素ライフスタイルへの転換を国民に促している。また、県では家庭での省エネルギーや電気自動車の充電インフラ整備の推進などのリーディングプロジェクトを重点的に推進している。

本市においては家庭や事業所での太陽光発電設備などの導入支援



池田 明弘 議員 (1期・長岡市公明党)

中山間地域の集落支援について

増員する集落支援員の配置や地域や活動内容と、相乗り支援の30年度の取り組みを伺う。

集落支援員は10人の増員を見込んでおり、高齢化の度合いや人口規模、コミュニティの状況などを考慮しながら対象集落を絞りこんでいく。活動内容としては集落の点検や見守りのほか、区長や民生委員の支援など、集落の持続に向けたサポートを想定している。

相乗り支援については、社会実



池田 明弘 議員 (1期・長岡市公明党)

高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて

高齢運転者の交通事故防止策として、ドライブレコーダーを活用した安全運転診断が有効と考えるが、本市の考えを伺う。

ドライブレコーダーは客観的に運転能力を把握することができ、免許返納のきっかけづくりになることにも、免許を返納しない場合であっても、自身の運転能力を自覚した安全な運転を促すことになり、高齢運転者の交通事故防止につながるものと思われる。

一方で、機材のコストなど費用対効果の面での課題もあることから、今後、導入都市の事例などを参考に警察等と連携し、ドライブレコーダーの活用に関する調査・



池田 明弘 議員 (1期・長岡市公明党)

中小企業支援について

人手不足が深刻な中小企業の生産性の向上を支援するため、国が進めようとしている新たな固定資産税の特例を実施すべきと考えるが、本市の考えを伺う。

新たな固定資産税の特例と

は、市町村の判断によって設備に係る固定資産税の特例率を3年間にわたり2分の1からゼロの範囲で定めることができるものである。特例率をゼロにした場合には、国のものづくり補助金の優先採択や補助率のかさ上げ等の優遇が受けられるなど、メリットの大きい制度だと認識しており、本市としては国会での法案成立後、固定資産税の特例率をゼロに軽減する関係条例を議会に諮りたいと考えている。

今後とも国や支援機関等と連携しながら、様々な制度を活用し、多角的、複合的に市内企業の設備投資をより積極的に支援して生産性の高い企業の拡大に努めていく。

\*4 相乗り支援：過疎や高齢化が顕著な集落を対象に、集落内の助け合いによる相乗りを支援するもの。平成30年度はモデル地区において相乗りに必要な燃料費の助成を試行的に行う。



荒木 法子 議員  
(1期・市民クラブ)

市民協働によるまちづくり  
地域コミュニティセンター

**問** 地域で重要な役割を担うコミュニティセンターに対し、本市が今後期待することを伺う。

**答** 各地域に設置されているコミュニティセンターは、地域住民全体の意見の集約や交換の場であり、地域の団体が交流することによって新たな知恵を生み出す源となっている。

住民同士が互いに協力し合い、関係団体が連携することで、地域の特性を生かした活動が住みよい地域づくりにつながり、住民が主体となったまちづくりが更に浸透していくことをこれからも期待している。



加藤 一康 議員  
(6期・民成クラブ)

若者定住・移住に向けた  
支援策について

**問** 若者の定住・移住を狙った起業支援策の取組について伺う。

**答** 新年度の取組として、NaDEC構想を踏まえた大学発ベンチャーの創出を促す学生起業家創出モデル事業を新たに実行し、起業に係る試作品製作や登記費用を負担するなどスタートアップを応援していく。さらに、起業支援センターがおかを通じて起業家と一緒に事業計画や課題解決を考えるサポート内容の充実を図り、様々な起業・創業支援制度への挑戦を促していく。このほか、U・iターン者に特化した起業支

**問** オープンデータの活用と、活用した長岡版地域カルテの作成について本市の考えを伺う。

**答** 全庁的にオープンデータを推進し、部局横断的な施策研究のためにデータを共有すること、諸課題の解決に有効であると認識している。平成30年度予算案に計上した地域情報化アドバイザーを活用するなどして、効果的なデータ共有の方法を研究していきたいと考えている。

また、地域での多種多様な課題を解決していくうえで、担当業務にとらわれない俯瞰的で複眼的な視点やデータの活用能力は、職員にとつて欠かすことができないものである。地域カルテの作成については、これまでの研修の成果や各種施策を踏まえつつ、今後の職員研修の企画運営の参考としたい。

●その他の質問  
・国指定重要無形民俗文化財を活用した観光誘客について

援補助金やクラウドファンディングなどの支援も進めていく。

インベーション施策について

**問** 市長が目指しているインベーションとは具体的に何か伺う。

**答** 長岡版インベーションが当面目指すものは三つある。

一つ目は農業も含めた長岡の産業の活性化である。IoTや人工知能などを活用しながら長岡の産業界が活性化していくことが大きな目標である。二つ目は若者の起業・創業であり、長岡の若者を中心に新しいビジネスを長岡の地でチャレンジしてもらいたいと考えている。三つ目は従来のシステムや仕組みを改善し、進歩させていく取り組みである。行政の仕事をもっと新しい技術によって効率化するなど、政策のイノベーションを進めていきたい。

急速に進むイノベーションの流れに対応するため、子どもたちや若者への新しい学びと体験の場の提供も大きな課題と認識している。

会派別議案等賛否一覧表

3月定例会

○：会派全員が賛成 ×：会派全員が反対

議案等	会派名 ( )は所属議員数							議決結果	
	市民クラブ (16)	しん長岡クラブ (5)	共産党市議団 (4)	民成クラブ (3)	長岡市公明党 (3)	無所属 A	無所属 B		
市長提出議案等	予当	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	初	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	算補正	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	正	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	算補正	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	正	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	算補正	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	正	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	算補正	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	正	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例 ほか1件	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	個人情報保護条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	コミュニティセンター条例 ほか25件	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	高等学校入学準備金貸付条例 ほか1件	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	和解	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	市道路線の認定、変更及び廃止	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	公立大学法人長岡造形大学定款の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	過疎地域自立促進計画の一部変更 ほか5件	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	教育委員会委員の選任、監査委員の選任、人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議会委員会条例 一部改正	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

各種行政委員の選任・推薦に同意

3月28日の本会議最終日において、次の方を選任・推薦することに同意しました。

- 教育委員会委員 大久保真紀 氏 (再任)
- 監査委員 阿部 隆夫 氏 (新任)
- 人権擁護委員 小林 正司 氏 (新任)
- 堀内 憲子 氏 (再任)
- 丸山 雅人 氏 (再任)
- 岩野 守男 氏 (再任)

会派別議員名簿 (3月28日現在)

会派	議員名
市民クラブ	丸山 広司
	高見 美加
	広井 晃
	田中 茂樹
	大竹 雅春
	松井 一男
	関 正史
	高野 正義
	加藤 尚登
	池田 和幸
しん長岡クラブ	山田 省吾
	関 充夫
	水科 三郎
共産党市議団	笠井 則雄
	服部 耕一
民成クラブ	加藤 一康
	小坂井和夫
長岡市公明党	中村 耕一
	藤井 達徳
無所属	A 桑原 望
	B 関 貴志
	C 丸山 勝総 (議長)

6月定例会を傍聴しませんか?

6月定例会の日程は、5月中旬に決定します。ぜひ傍聴にお越しください。

- 本会議**
- ・開会 午後1時
  - ・受付 午後0時30分からアオーレ長岡西棟2階 (傍聴受付) にて
  - ・定員 65人、車いす席2人、親子傍聴席10人
- 常任委員会**
- ・開会 午前10時
  - ・受付 午前9時30分からアオーレ長岡西棟4階 (議会事務局) にて
  - ・定員 12人

2月臨時会

市長提出議案	議案内容	市民クラブ	しん長岡クラブ	共産党市議団	民成クラブ	長岡市公明党	無所属 A	無所属 B	議決結果
専決処分	平成29年度一般会計補正予算 (2月1日専決処分)	○	○	○	○	○	○	○	承認
	平成29年度一般会計補正予算 (2月8日専決処分) ほか1件	○	○	○	○	○	○	○	
補正予算	平成29年度一般会計 2件	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	平成29年度下水道事業会計 ほか1件	○	○	○	○	○	○	○	
条例一部改正	部制条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	支所及び出張所設置条例 ほか2件	○	○	○	○	○	○	○	

※1 丸山広司議員、池田和幸議員は欠席 ※2 藤井達徳議員は欠席

# 平成30年度一般会計当初予算に対する各会派の意見

## 米百俵の精神が息づく 「人づくり予算」に賛成

市民クラブ  
クラブ長 丸山 広司

平成30年度は、長岡開府400年を迎え、戊辰戦争から150年の節目の年であり、次の100年に向かって長岡のまちづくりを着実に始める年としなければならぬと考えます。

いつの時代も、我が長岡市は一貫して「米百俵」の精神による人材育成に意を注いできました。それは地域社会が「人」により成り立っているということ

への確信でもあります。国漢学校の跡地に「人づくり・学び・交流エリア」を整備（基本設計）することは、長岡開府400年の年にふさわしい人づくり事業として高く評価するものです。また、平成31年4月開学予定の長岡崇徳大学（仮称）は、長岡で4校目の大学であり、都市の魅力向上にも大いに寄与するものと期待が高まります。

今後も税収の減少が見込まれる中、誰もが安心して暮らせるまち長岡を維持発展させるためには、国・県との連携強化や、民間の資金を取り込んだ事業展開、将来への投資などがより一層重要になってきます。

これらの視点を念頭に、平成30年度当初予算を効率的に執行いただきますよう要望して、提出予算に賛成いたします。

## 「次の100年に向けて 力強く踏み出す予算」に賛成

しん長岡クラブ  
クラブ長 山田 省吾

政府は、平成30年度当初予算を「経済・財政再生計画」の集中改革期間の最終年度の予算として、経済再生と財政健全化を両立する予算と位置付け、必要なものに集中的に対応するための「人づくり革命」、「生産性革命」という重点施策に向けた取り組みを推進しています。

本市の平成30年度当初予算は、「次の100年に向けて力強く踏み出す予算」

をキャッチフレーズに掲げ、長岡版イノベーションを強力に推進するためのイノベーション推進本部の設置、3大学1高専の連携によるNaDeC構想の推進、子どもの貧困対策の推進など、各分野で積極的に取り組む姿勢が見える予算であると認識し、高く評価するものであります。

また、本予算は政府が掲げる人材投資、子ども子育て支援等のテーマに合致したものとなっており、自主性・主体性を最大限に発揮して地方創生に取り組む姿勢が強く表れているほか、地方財政計画とのバランスもしっかりと考慮されたものとなっています。よって、しん長岡クラブとして、本予算に対して大きく期待し、賛成するものであります。

## 安心して暮らせる市政に！ 市民サービスを確保した予算に賛成

共産党市議団  
団長 笠井 則雄

平成30年度当初予算は、磯田市長が本格的に編成したものであり、前年度より規模は縮小したものの、市民サービスはしっかりと確保し、4つの柱に基づく政策展開を行っています。

誰もが安心して暮らせるための施策として、子どもの貧困対策の促進、障害者雇用の促進、そして、教育環境の整備として、小・中学校図書館への学校

司書の配置、小・中学校入学準備の就学援助費の前倒し支給、中学校普通教室と公立保育園保育室への冷房設備設置の事業は評価するものです。

さらに、地域経済の下支えとして、市単独で住宅リフォーム助成事業を継続されたこと、集落共助による相乗りの燃料費、除雪作業への支援など中山間地域の生活を支援する事業や、交流人口拡大のための寺泊-赤泊航路への支援についても評価するものです。

一方で、中心市街地再開発事業については、過大投資とならないよう厳しくチェックし、地場産業と商店街の振興、そして多くの市民に役立つものとなるよう強く求めます。以上の意見を付して、本予算に賛成いたします。

## 新たな100年を創る人材と 産業育成予算に賛成

民成クラブ  
クラブ長 加藤 一康

長岡開府から400年、戊辰戦争から150年の節目を迎え、米百俵の精神が息づく本市の平成30年度当初予算について、次のとおり意見を申し上げます。

一般会計当初予算は、基幹収入である市税と普通交付税の減額見込みの中で、国・県支出金等の特定財源などを可能な限り取り込み、歳入の確保に努められました。

また、新年度からは全国的にも高い評価を得ていたアオーレ長岡等の窓口体制の時間変更やリジュベネーション予算の減額、他施設の廃止などが打ち出されました。

しかし、政策決定の際は地域・住民の声に耳を傾けながら財政民主主義の原点を意識した対応に心掛けていただきたいと思えます。

以上、新年度の政策展開に期待する意味から問題提起を行いました。予算執行にあたっては、市民に寄り添い、現場の声に耳を傾け、直面している課題に向き合うという市長の言葉どおりの市政運営を行っていただきたいことを申し上げ、平成30年度一般会計予算に賛成いたします。

## 長岡版イノベーションで 次の100年をつくる予算に賛成

長岡市公明党  
代表 中村 耕一

本市も急速な人口減少、少子高齢化、地域や産業の担い手不足といった厳しい現実が待ち構えています。今後は社会保障費や公共施設、インフラ等の維持管理が重くのしかかり、難しいかじ取りが予想されます。

新年度の予算は、総額1,386億6,900万円と前年度比5.1%の減となりましたが、社会保障費を中心とした市民生活に直結する部分はしっかりと確保するこ

とにより、市民に負担感を与えず、その他の分野においても閉塞感を感じさせることのない予算編成になったと評価します。

開府400年という節目の年であるからこそ、次の100年に向けて過去の延長ではなく、長岡市のあり方や行政のあり方など全てを見直し、未来を託す青少年への期待や新しい価値を生み出すような未来に引き継ぐことのできる「新たな長岡市」構築に向けてイノベーションする、意欲ある予算であると期待しています。

今年度限りの予算にとらえるのではなく、年間を通じて種をまき、成長させていく重要な予算であると訴え、本予算に賛成いたします。

# 3月定例会 常任委員会の所管に関する質問

各常任委員会では、議案審査のほかそれぞれ担当する事業等について質問する「所管事項に関する質問」を行っています。ここでは、質問の一部を掲載しています。詳しくは会議録（6月上旬発行予定）、インターネット録画中継をご覧ください。

## 総務委員会

- マイナンバーの記載が義務付けられた行政手続きにおいて、市民がマイナンバーを記載せずに提出した場合の書類の取り扱い
- 住民サービス緊急対応事業費（支所裁量予算）及び災害応急復旧対策事業費（地域の救急箱）に対する評価、課題及び今後の方向性
- 防災行政無線の有用性を踏まえた平成34年12月以降におけるアナログ方式の防災行政無線の継続使用に対する考え
- 高齢者の見守りや孤立死を防ぐための市内郵便局との協定内容
- 豪雪時の情報収集のためのスマートフォン向けアプリ導入に対する考え
- 地域の宝磨き上げ事業の平成29年度の特徴的な取り組みと今後の方向性
- 市民サービス向上の観点での公共サービスの委託・民営化の考え方 など

## 文教福祉委員会

- 小・中学校での拉致被害者に関する教育の実施状況
- 保育所運営費の公定価格の基本分単価における「地域手当」の考え方
- 子どものインフルエンザ予防接種状況と助成に対する考え
- 小・中学生のスマホ依存を防止するための対策
- 平均寿命と健康寿命の差を縮めるための介護予防の取り組み
- 特定健診を活用した認知症の早期発見に向けた取り組みの促進
- 特定健診受診率向上のため、受診しやすい曜日の設定など環境整備の重要性 など

## 産業市民委員会

- アオーレ長岡の壁面木製パネルの管理状況及び安全対策
- 改正労働契約法に基づくいわゆる「無期転換ルール」の市内の適用対象者数
- 市内の農作業事故の現状、背景及び防止対策
- 国の生産数量目標配分の廃止に伴う今後の米政策
- 東・西サービスセンターの土日祝日の開設時間短縮に伴う市民目線での行政サービス低下の懸念 など

## 建設委員会

- 寒波による水道管凍結被害の注意喚起や今後の取り組み
- 大雪による国道351号の渋滞解消策と道路情報掲示板の有効活用
- 平成28年1月の集中豪雪による大渋滞を教訓とした今冬の取り組みと効果
- 大雪に対する除雪状況と今冬の大雪の経験を踏まえた今後の対応
- ロータリ除雪などによる計画的な圧雪処理の効果と臨機応変な対応策
- 一方通行解除などを含む中心市街地の今後の交通政策に対する考え など

# 市議会の活動状況

2月		
6日	議会運営委員会	
13日	まちづくり・新エネルギー対策特別委員協議会	
19日	議員協議会	
2月臨時会	議会活性化特別委員会	
	議会運営委員会	
	本会議	
	26日	総務委員会
	文教福祉委員会	
	産業市民委員会	
建設委員会		
3月		
1日	議会運営委員会 克雪・危機管理・防災対策特別委員協議会	
3月定例会 (23日間)	6日	議会運営委員会 本会議(招集日) 文教福祉委員会 産業市民委員会 建設委員会 総務委員会
	7日	本会議
	8日	人口減少対策特別委員協議会 本会議
	9日	本会議
	13日	産業市民委員会
	14日	産業市民委員会 まちづくり・新エネルギー対策特別委員協議会
	15日	建設委員会
	19日	文教福祉委員会
	20日	文教福祉委員会
	22日	総務委員会
	26日	総務委員会
		総務委員協議会
		議会運営委員会
		文教福祉委員会
28日	建設委員会	
	総務委員会	
	本会議(最終日)	
4月		
10日	克雪・危機管理・防災対策特別委員協議会	
13日	議員協議会	
	議会活性化特別委員会	
17日	まちづくり・新エネルギー対策特別委員会 行政視察	

## 議員発議で条例制定へ! ～長岡市スポーツ推進条例～

スポーツ振興条例(仮称)制定検討委員会では、1月16日及び17日の2日間、スポーツ推進に関する条例制定の先進地である滋賀県近江八幡市及び三重県四日市市を訪れ、スポーツ推進を着実に実施するための組織体制の整備や、条例の制定過程における様々な手法について視察しました。

3月20日には、これまで委員会で協議を重ねてきた内容と行政視察を踏まえて策定した「長岡市スポーツ推進条例(案)」を五井委員長から丸山議長に手渡し、条文について説明するとともに、条例制定に向けた要請を行いました。その後、4月13日に議員協議会を開催し、条例制定の趣旨やスケジュールについて全議員に説明しました。

今後は、条例案に対する市民の意見を募集した後、9月定例会での条例案の発議・成立を目指します。



正副議長と検討委員会の委員

## 2月19日 議員協議会を開催

議員協議会を開催し、平成30年度当初予算の概要について市長から説明を受けました。また、大手通坂之上町地区市街地再開発事業(仮称)について、事業計画案の概要と都市計画決定の基本方針や現状、今後の方向性などが示され、質疑や意見交換を行いました。

## 議会活性化特別委員会を開催

2月26日に第9回、4月13日に第10回の委員会を開催しました。現在、「通年議会の導入」と「議会基本条例の制定」について、それぞれの目的と効果を協議しています。今後も市民に分かりやすい議会を目指し、その必要性について協議していきます。

## 長岡市スポーツ推進条例(案)に対する意見を募集します

長岡市議会は、スポーツを通じた全ての市民の健康で充実した生活と、スポーツによるまちづくりの実現を目指し、スポーツの推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、長岡市スポーツ推進条例を提案する予定です。

つきましては、この条例案に対して市民の皆様から意見を募集しますので、以下の事項を参照の上、意見をお寄せくださるようお願いいたします。

- 条例案の閲覧場所 アオーレ長岡東棟1階情報ラウンジ内又は市議会ホームページ
- 募集期間 平成30年4月25日(水)から5月24日(木)午後5時15分まで
- 提出方法 総合窓口又はホームページの「意見記入用紙」に所定の事項を記入の上、郵送、ファクシミリ又は電子メールにより提出してください(持参いただくことも可能です)。
- 提出先 郵送：〒940-8501 長岡市大手通1-4-10 長岡市議会事務局議会総務課  
ファクシミリ：(0258) 32-0827/電子メール：gikai@city.nagaoka.lg.jp  
持参する場合：長岡市議会事務局議会総務課又は市役所なんでも窓口へ
- 問い合わせ 長岡市議会事務局議会総務課調査係 ☎(0258) 39-2244

